



年の瀬が近づいてきました

寒さが日に日に増していく今日この頃です。町中にはクリスマス飾りが顔を覗かせ始め、にぎわいを見せています。ふと気づけば、今年もう終わりが見えてきました。今年のうちにやっておきたいと思った、年初の抱負はどれだけ達成できているでしょうか。あともうひと踏ん張りで実現できそうなことは、今年のうちに達成に向けて頑張ってもいいかもしれません。

学期末に向け、在籍学級では提出物が増えてきていると思います。なるべく早めに提出物を出して、年末を気持ちよく迎えられるようにしましょう。



自立活動「ESAT-J」での万が一のことに備えて



過去に他区の難聴学級にて、都立の高校受験にも利用される英語スピーキングテスト ESAT-J の受験で、特別措置を受ける生徒が別室に案内されず、どこにいけばいいのかわかり混乱してしまい、試験を受けるのが遅くなり別日に再受験を行ったという事例がありました。

そこで、難聴学級では万が一、そういった試験会場のスタッフに特別措置の情報がうまく伝達されていなかった場合を想定し、生徒自身でも対応できるように「特別措置してほしいこと」の資料を作成する活動を行いました。

この活動では「自分の受ける特別措置の区分」「補聴器などの装着するもの」「聞こえにくかった時に、どう話しかけてほしいか」「その他、どんな配慮をしてほしいか」を整理し、まとめたものを資料として作りました。当日、会場に持っていき、もし特別措置の会場側での案内が不十分だった場合、受験票とこの資料を見せて対応してもらうよう、声をかけました。

今後も大きな試験のあるときには難聴学級でも、試験で何かあったときに備える声かけなどを行っていきます。



ESAT-J が終わりました

鹿本中学校の3年生は11月23日(日)外部の学校や、公営の施設で、ESAT-Jを受験しました。

今回、特別措置を利用してこの試験を受けた校内通級生に、このテストを受けたとき、会場はどんな様子だったかについて聞きました。

生徒からは「タブレット端末に録音するとともに、予備として IC レコーダーに録音しました。2年生の時に受けた ESAT-J YEAR 2 に比べ、ヘッドセットのマイクを使わないで録音ができるので、その時より快適でした。」「事前で作っておいた『特別措置してほしいこと』の資料を渡し、困っている場面ではスタッフの方に助けてもらうことができました。」という声がありました。今年度は一部の生徒に対し、試験監督が誤ったスクリプト冊子を配布してしまったため、再受験となるケースも発生しています。この再受験の受験票は12月5日から生徒の ESAT-J ポータルサイトからダウンロードできる予定となっています。

年度ごとに特別措置の利用機材なども変わるこの ESAT-J ですが、難聴学級では今後も情報を確認し、生徒に案内ができればと思っています。

